

第 42 回全国在日外国人教育研究集会・徳島大会

開催要項

第 42 回全国在日外国人教育研究集会を、四国・徳島の地で初めて開催いたします。徳島では、2011 年に第 23 回全外教セミナーを開催させていただきました。セミナーでは、「外国にルーツを持つ子どもたちの未来を拓くために」としたテーマで多くの生徒交流会の卒業生たちがパネラーとして語ってくれました。徳島では、セミナー開催以前やそれ以降に、全国在日外国人生徒交流会への参加や研究集会での実践交流をされる中で、全国と結ぶとりくみを進めて来られました。そして、今回、四国大学、阿波高校を会場とした全国集會を開催することとなりました。まずは、関係者の皆さんに感謝申し上げます。

昨今、日本社会における在日外国人を取り巻く状況は、ますます厳しい状況にあります。そして、その厳しさは子どもたちにとっても同じであり、学校や園・所においてさまざまな課題が浮き彫りになってきています。

昨年、文科省の調査において以下のようなことが明らかになりました。「外国人の子供の就学状況等調査」では、全国で 1 万人を超える子どもたちが学校に就学できていないという実態が明らかになりました。また、「日本語指導が必要な児童生徒の受け入れ状況等に関する調査」では、高等学校等への進学率は 89.9% でした。これは全中学生の進学率が 99.2% であるのに対して 10% も低い数字です。さらに、高校に進学した後についても、日本語指導が必要な高校生の中退率は全生徒の中退率の 5 倍を超えています。

また、差別落書き、ネット空間の誹謗中傷は放置されていると断言している状況です。そんな中で、自らのルーツを肯定できない子どもたち、どこにも助けを求められない子どもたちがいます。

2016 年に「ヘイトスピーチ解消法」が制定されました。この中では、国や地方公共団体の責務として「不当な差別的言動を解消するための教育活動を実施するとともに、そのために必要な取組を行うよう努めるものとする」と定められています。しかし、そのとりくみは十分とは言えないのが現状です。実効あるとりくみを求めるとともに、被害者も加害者も出さないために、マジョリティ側の「日本人児童生徒」の変容を促す反差別・人権を基盤にした多文化共生教育の創造ととりくみが必要です。

今徳島大会に全国から実践を持ち寄り、各地のとりくみに学び交流する中で課題解決に向けた論議を深めていただきたいと思います。是非、なかまの皆さんと共にご参加ください。

主催 全国在日外国人教育研究協議会・徳島大会実行委員会

全国後援 公益財団法人 朝鮮奨学会、全国キリスト教学校人権教育研究協議会、日本教職員組合、部落解放同盟中央本部、移住者と連帯する全国ネットワーク、フォーラム平和・人権・環境、全国在日外国人教育研究所

地元後援 徳島県、徳島県教育委員会、徳島市、徳島市教育委員会、徳島県人権教育研究協議会、徳島県教職員組合、徳島県高等学校教職員組合、徳島県教職員団体連合会、徳島県公立学校教職員組合、公益財団法人徳島県国際交流協会

◇**テーマ** 多文化共生社会実現のための教育を創造しよう

◇**日程** 2023 年 8 月 5 日 (土) 6 日 (日) 7 日 (月)

8 月 5 日 (土)	15:00					
	全国在日外国人生徒交流会 (～ 6 日)					
8 月 6 日 (日)	12:00		13:00	13:30	16:50 17:00	
		受付	開場	開会行事・全体会		司会・記録 報告者会議
8 月 7 日 (月)	9:00	9:30	12:00	13:00	15:45	16:15
	受付	分科会	昼食	分科会	閉会全体会	

◇**会場**

全体会・分科会 四国大学 (徳島県徳島市応神町古川戎子野 123-1)

生徒交流会 徳島県立阿波高等学校・研修会館 (吉野町柿原字ヒロナカ 180)

◇全体会

- 13:30～ 開会行事、基調報告
14:20～ 全国在日外国人生徒交流会報告
15:00～ 地元報告「ダイバーシティしらさぎ ～誰一人取り残さない教育～」
報告者 向原高志さん（徳島県立しらさぎ中学校）
15:50～ 基調講演「外国人散在地域における外国につながりをもつ子どもを取り巻く教育環境について」
講師 堀江亜希子さん（京都府国際センター）

◇分科会

共通課題 ◎<多文化共生>と<本名（民族名）を呼び名のる>とりくみをすすめよう
◎<子どもたちや教職員・地域がどう変わったか>を明らかにしよう

1、異なる文化との出会い

- ①子どもたちに異なる文化とどう出会わせたか。
- ②在日コリアンをはじめとする外国人の歴史をどう教材化し、親の生活史をどう伝えたか。
- ③日本籍・ダブルの子どもにかかわるとりくみをどう進めたか。

2、差別と排外に抗して

- ①排外意識や自民族中心主義を解き放つためにどうとりくんだか。
- ②名前の自己決定をめぐる状況はどなっているのか。
- ③反差別の教育実践をどのように展開したか。

3、未来をひらく

- ①進路をめぐる差別の実態はどのようになっているのか。
- ②確かな歴史認識を培い、子どもたちの未来をどうつくるのか。
- ③在日外国人と日本人の子どもがどのような関係を結んだか。

4、多文化共生をめざして

- ①多文化共生の教育をどのようにすすめたか。
- ②新たに渡日した子どもたちの教育にどうとりくんだか。
- ③地域や保護者・NPOをはじめとする教育支援団体とのつながりをどのように深めたか。

◇参加費および参加申し込み

参加費 3,000円

参加申し込み 当日生徒交流会受付または全体会会場受付でお申し込みください。

◇宿泊

宿泊の紹介は行いません。各自で予約をお願いします。宿泊の確保が困難になっています。できるだけお早めに宿泊の予約をされますよう、お願いいたします。

◇書籍・資料の展示について

書籍・資料の展示を行いますのでご活用ください。大会事務局で認められた場所以外で行うことはできません。展示をご希望の方は大会本部にご連絡ください。

◇全国在日外国人生徒交流会

※詳細は各地の生徒交流会担当者まで

◇昼食

近くの飲食店やコンビニにて、各自おとりください。会場での飲食は可能です。

◇その他

- 関係者以外入場できません。
- ビラ・広告や署名は、大会事務局の許可のないものは認められません。必要な方は大会事務局までご連絡ください。

第42回全国在日外国人教育研究集会

徳島大会事務局

〒630-8133 奈良市大安寺 1-23-1 県人権センター内
多文化共生フォーラム奈良
e-mail: mail@zengaikyo.org

